

花ことば 職員評価表 放課後等デイサービス

2022年 10月 実施

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題点等
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		環境設定を行いながら工夫を行っている。
	② 職員配置数は適切であるか	6		基準以上の職員配置で行動している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	5	1	バリアフリー化にはなっていないが、子どもの発達や行動できる範囲を見ながら支援や配慮をしている。情報共有は常に行う様になっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		職員会議として1週間の振り返りを行うようにしている。職員の行動、対応など振り返る事で次の対策を検討する事ができている。
	⑤ 保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		年1回、事業所評価として、当事業所利用中の保護者と職員に対してアンケート調査・評価を行っている。評価表を見て振り返り、状況を把握するとともに、ホームページに掲載している。
	⑥ 事業所の自己評価を行い、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	未実施である。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	週1回、会議として児童への支援方法を検討する、職員間での研修を行うようにしている。また外部研修には積極的に参加を促している。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		ご家族と面談を行う事やモニタリング会議等を活用して、ご家族・子どものニーズを確認しながら計画書を作成するようにしている。職員には会議を行うことで目標や対応を検討し、周知を図るようにしている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		職員間で活動内容を検討して計画している。内容や方法については職員間で意見を出し合いながら決定している。放課後と長期休みと時間帯が異なるため、時間設定を行いながら支援を行うようにしている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		当事業所は毎日、全児童に対して個別療育と小集団療育を組み合わせ実施している。時間帯やその日の対応する児童の設定など話し合いやホワイトボードに記入しながら実施するようにしている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	支援終了後の振り返りは、各自で行うようにしている。振り返る事で翌日に生かす事ができる事もある。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。また、ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6		モニタリングに関しては定期的に行う事ができている。ご家族とも送迎の際に顔を合わせるようにしているので、関係性を保つよう心掛けている。活動の振り返りを行う事で児童のアセスメントにもつながっている。
	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		児童発達支援管理責任者が参加することや直接支援を行っている職員が参加することなどときと場合に合わせて参加できている。
⑳ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		学校とは送迎の際や連絡帳などを通して情報共有に努めている。	
㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		現在医療的ケアが必要な児童がいない。	

	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	進学する児童に関しては、移行支援シートを作成し、ご家族の許可を得た上で提出するようにしている。当事業所での様子や変化などを記載し、情報共有に努めるようにしている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6		
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	書面での助言等が多いが、児童に関わる関係機関として連携を図る事ができている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	児童館を利用することができており、地域で過ごす子どもとの交流を図る事ができている。
	㉔	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	基本的には児童発達支援管理責任者が参加しているが、コロナの影響もあり、開催できていない事が多くあった。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	送迎や連絡帳、面談、LINEにてご家族との連携は密にとるよう心掛けている。児童の様子や対応、反応を伝える事で自宅での様子なども教えてもらう機会が増えてきている。
保護者等への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約開始時に重要事項説明書や契約書の説明を行うようにしている。
	㉘	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		ご家族から相談がある場合にはいつでも受けられるよう体制を整えている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	父母の会の案内など積極的に周知するよう心掛けている。ご家族が希望する際には、保護者同士のつながりを支援するようにしている。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		苦情窓口を設置しており、ご家族からの意見がある場合には対応できるように体制を整えている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		インスタグラムを活用することや利用児童のご家族にはLINEを使用して情報を発信している。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6		十分に個人情報が洩れる事がないよう配慮している。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		話すだけではなく情報伝達ツールが必要な場合には環境設定なども含めて配慮を行うようにしている。
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	当事業所に地域の方を招待することができていないが、児童と一緒に地域に出る活動を取り入れている。
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6		マニュアルを作成し、いつでも見れる環境にマニュアルを置くようにしている。避難訓練は年1以上行っている。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		年1回以上避難訓練を行っている。今年は地震と火災の訓練を実施している。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		虐待防止研修を数年に1回職員が受け、全体に周知を行っている。今年も参加し、全体周知研修を行う。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		身体拘束と虐待の違いを話し合いながら、必要な拘束について検討することができている。車いすを使用している児童は転落防止のため腰ベルトをしっかりするなど必要な事を把握して支援を行うようにしている。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		ご家族を中心にアレルギーや内服の情報を得るようにしている。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	ヒヤリハットの報告書作成と話し合いを行うようにしている。